



9日(月)、初声中学校3年生選択授業の海岸ボランティアグループが、矢作海岸で、活動しました。これは、6月29日(金)に、NPO法人湘南ビジョン研究所の方の講演を受けて行われたものです。

海岸でゴミを拾うグループ、シーグラスを探すグループなどに分かれて活動しました。また、講演で、「海岸でゴミを拾うだけではゴミはなくなる/海のゴミの7割は川から流れてくる」という指摘を受けて、一番川から海までをたど

るチームもありました。この日は、どこから流れて来たのか、川に油がひろがっていたそうです。

新しいゴミも多く、土曜日、日曜日のバーベキューのゴミらしきものが多かったようです。釣り道具らしきものもありました。写真のように、多くのゴミが集まりました。

今後、9月に活動のまとめをして、10月の福祉文化祭で成果を発表する予定です。



13日(金)に、初声小学校5年生が、アマモの授業を受けました。昨年も5年生が受けたのですが、その時に、授業を見た先生の強い希望で、今年の5年生でも行うことになりました。

今回は、アマモの種の作業まではせず、アマモの現状について学習し、それについて、子どもたちに考えてもらおう、という授業でした。

小パール隊の皆さんが、飛び出す絵本のような教材を使って、アマモの森の重要性(生物の産卵場所、隠れ場所、波をやわらげる等)や、小網代湾では、アマモが姿を消してしまったことについて説明をした後、子どもたちに、「どうしたらよいか」考える時間をとりました。子どもたちは、今後、この問題について考えていくことになりました。



12日(木)、剣崎小学校で江奈湾クリーンアップ大作戦が行われました。毎年、全校生徒が参加する学校行事として行われています。

先生から「剣崎小の子どもたちの力で、海の生きものが住みやすい環境をつくってほしい。生きものを守ることが、海に近い自分たちの身を守ることにもつながります。」というお話がありました。



海岸には小さなビニール袋から大きな車のタイヤまで、たくさんのゴミが落ちており、最終的に30袋以上のゴミ袋が子供たちの手で集められました。

最後に先生が「続けて行うことで、海岸がきれいに保たれる」と、子どもたちに継続することの重要性を説明していました。全校で協力して海岸がたいへんきれいになりました。



(文責 事務局長 渋谷)